

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 8 月 25 日 (2011.8.25)

【公開番号】特開 2009-19206 (P2009-19206A)

【公開日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2009-004

【出願番号】特願 2008-178767 (P2008-178767)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 9 J 123/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

C 0 9 J 123/16 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/00

C 0 8 K 3/00

C 0 9 J 123/00

C 0 9 J 11/04

C 0 9 J 123/16

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 11 日 (2011.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

チョーク，天然の粉碎または沈降炭酸カルシウム，カルシウム・マグネシウム炭酸塩，酸化カルシウム，ケイ酸塩，パライト，グラファイト，カーボンブラックまたはバーミキュライト，雲母，タルクまたは層状ケイ酸塩が無機充填剤として使用される、請求項 1～3 のいずれかーに記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、a) 一種以上のポリオレフィンおよび b) 一種以上の無機充填剤を含む組成物の、物品を建築部位に固定する働きをする接続部位としての使用に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

無機充填剤は、たくさんの無機塩およびミネラルの中から選ぶことができる。好適な充填剤として、ここに、チョーク、天然の粉碎もしくは沈降炭酸カルシウム，カルシウム・マグネシウム炭酸塩，酸化カルシウム，ケイ酸塩およびパライトを挙げることができる。

更なる適した充填剤は、パーミキュライト，雲母，タルクまたは同様の層状ケイ酸塩のような小板様充填剤，同様に、グラファイトまたはカーボンブラックである。充填剤の少なくとも一部が、表面処理されているのが有利になり得る。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

試験結果は、充填剤Snowcal 70 (CaCO_3) による硬化時間の非常に大きな短縮，および引張強度および/または剛性の相当の増大を示した。高い充填剤含有量 (F1) を有する組成物の場合に，伸び率は0%と測定された，これは、組成物の高い脆性を示す。

使用した商品の特性表示：

Licocene PP MA 6252 TP: ポリプロピレン，無水マレイン酸でグラフトした，
Clariant Produkte (Deutschland) GmbH.

Licocene PP 2602 (登録商標) TP: プロピレンポリマー，Clariant Produkte (Deutschland) GmbH

Snowcal 70: 炭酸カルシウム，Omya